

報道機関のお問い合わせ先：

山下 絢子 +81 3 5511 7572 または Ayako.Yamashita@morningstar.com

ステファニー・ホー +852 2973 4655 または Stephanie.Ho@morningstar.com

即日発表**株式、ファンド、資産運用会社の分析に ESG 要因を本格的に織り込む**

持続可能な投資のための資産が増加し投資家の皆様の関心が高まる中、米国モーニングスターが、ESG 投資の選択を目的とした定性分析および定量分析に対する投資家の皆様のニーズに応えるため重要な ESG リスクを本格的に調査分析対象に

シカゴ、ロンドン、2020 年 11 月 17 日 --大手独立系投資調査会社である米国モーニングスター (ナスダック: MORN)は、本日、株式、ファンドおよび資産運用の調査分析に、環境・社会・ガバナンス (ESG) 要因を本格的に組み入れることを発表しました。

米国モーニングスターの株式リサーチアナリストは、世界中で一貫したフレームワークで 1,500 社を超える銘柄の ESG リスクの評価を開始します。アナリストは、サステイナリティクスの ESG リスクレーティング を用いて個別企業のバリュエーションに影響を及ぼす ESG リスクを特定し、企業の重要な ESG リスクへのエクスポージャーを測定し、それらのリスクが顕在化する可能性とそれに伴うバリュエーションへの影響を分析します。分析の結果は、米国モーニングスターによる株式の本質的価値 (適正価値推計) とモーニングスター株式レーティング (1 つ星から 5 つ星) を決めるのに必要とされる安全性余裕域 (株価と適正価値推計の乖離) に反映されます。ESG リスクレーティングの評価と調査で業界をリードする世界的に高い知名度を有するサステイナリティクスは、2020 年 7 月に米国モーニングスターによって買収されました。

米国モーニングスターのマネジャー・リサーチのアナリストは、新しい ESG コミットメントレベルの評価の一環として、投資戦略や資産運用会社が ESG のベストプラクティスをどの程度考慮しているかを分析します。アナリストは、分析やそれぞれの投資戦略にコミットしている人材、それらのリソースがポートフォリオの運用にどの程度反映されているかを評価します。資産運用会社の評価を行うために、アナリストは、その会社がどれだけ明確に ESG の理念を表明

しているか、また、その会社のカルチャーや投資商品を通じて、その理念をどの程度推進しているかを考慮します。投資戦略および資産運用会社の ESG コミットメントレベルの評価は、「リーダー」、「高い」、「標準」、「低い」の4段階で行われます。

「投資家の皆様は、投資目的をこれまで以上に包括的かつ明確に表明し、その考えに沿った投資を実践しています」と米国モーニングスターのリーサー責任者であるヘイウッド・ケリーは述べています。「企業にとって、ESG リスクを評価することは、多様なステークホルダーのニーズを満たすと同時に、潜在的な法的リスクや業務リスク、風評リスクを軽減するため、ビジネスを運営する上で必要不可欠なものです。米国モーニングスターの株式リーサーおよびマネジャーリーサー・チームは、これらのトレンドに対応し、定性分析と独立した見解を基盤とする独自のメソドロジー（調査分析手法）を通じて、投資家の皆様に支援することを目指しています。

サステナリティクスの ESG 調査を米国モーニングスターの株式調査分析手法に統合

米国モーニングスターは、サステナリティクスの調査を活用して、全セクターで一貫したプロセスを用い、長期投資を前提としファンダメンタルズ重視する米国モーニングスターの投資哲学を踏襲し、モーニングスター・エコノミック・モート・レーティングと不確実性レーティングの二つの主要な指標に ESG リスクを織り込みます。これらのレーティングは、それぞれ米国モーニングスターによる企業の本質的価値（適正価値推計）と必要とされる安全余裕域（株価と適正価値推計の乖離）に反映され、最終的には、投資判断指標としてのレーティングであるモーニングスター株式レーティングに組み込まれます。

1. **エコノミック・モート・レーティング**：米国モーニングスターは、企業の持続可能な競争優位性を推定しエコノミック・モート・レーティングを個別企業に付与しています。ESG リスクが企業の競争優位性、すなわち、企業価値を生み出す源泉に対してもたらす長期的な脅威を捉えるために、エコノミック・モート・レーティングを決めるフレームワークが新しくなります。この結果、エコノミック・モートを喪失、あるいは弱まる企業もあります。
2. **不確実性レーティング**：将来のキャッシュフローの相対的な予測可能性を測定するモーニングスター不確実性レーティングを決めるフレームワークが新しくなります。経済全

体に対する企業の感応度、製品の集中度、価格決定力などの他の要因とともに、長期的な ESG リスクを恒常的に織り込みます。

また、米国モーニングスターは、スチュワードシップ・レーティングを資本配分レーティングと改称し、バランスシートの健全性、投資効率、株主還元という3つの主要な要素について経営陣のパフォーマンスを独立的にも評価するため、フレームワークを刷新します。アナリストは、これら3つの要素が株主に対する利益の還元に対する経営陣の影響を測定する上で重要であると考えています。

「ESG を調査分析手法の中核に直接組み込むことで従来の財務分析の幅が広がります。また、長期的な競争力や企業の収益の持続可能性に大きな影響を与える ESG リスクを正確に捉えることができるようになります」と米国モーニングスターの株式リサーチヘッドであるダン・ロアは述べています。

米国モーニングスターの株式アナリストは、サステナビリティの ESG リスクレーティングを、バリュエーションに関連するリスクを特定するための基礎として活用します。ESG リスク評価は、企業がセクター特有の重要な ESG リスクにさらされているか、また、企業がそれらのリスクをどの程度管理しているかを測定します。この ESG リスクを測定するアプローチは、管理可能性とエクスポージャーの概念を組み合わせることで、異なるセクター間でも ESG リスク (ESG リスク・レーティング) の比較が可能になります。

「投資家の皆様は、企業の長期的なリスクがどのようなものか、そのリスクが企業によってどの程度管理されているか、また、未管理リスクがどの程度残っているかを知る必要があります」とサステナビリティの ESG 調査担当エグゼクティブ・ディレクターであるウィルコ・ヴァン・ヘテレンは述べています。「米国モーニングスターは、重要な ESG 課題をリスクベースの評価アプローチの中心に位置づけ、長期投資を前提とする独自の投資哲学を強化します。米国モーニングスターがサステナビリティ ESG リスクレーティングを株式リサーチの分野に取り入れることを嬉しく思っています。」

これらのレーティングの導入は 2020 年 12 月 9 日から実施され、1,500 社を超える米国モーニングスターのグローバル株式リサーチの調査対象企業に適用されます。ESG 要因の組み込みは、アナリストの調査サイクルに沿って順次更新されます。

米国モーニングスターの株式リサーチの新たな手法については[こちら](#)をご覧ください。ESG が各構成要素にどのように統合されるかについての詳細は[こちら](#)をご覧ください。資本配分レーティングの詳細については[こちら](#)（英語版のみ）をご覧ください。

モーニングスターESG コミットメントレベル

米国モーニングスターのマネジャー・リサーチのアナリストは、投資戦略（投資戦略のモーニングスターESG コミットメントレベル）や資産運用会社（資産運用会社のモーニングスターESG コミットメントレベル）が ESG のベストプラクティスをどの程度実践しているかを分析します。モーニングスターESG コミットメントレベルは定性的に評価され、アナリストは、投資戦略や資産運用会社のコミットメントレベルを「リーダー」、「高い」、「標準」、「低い」の4段階で評価します。アナリストは、各投資戦略のプロセス、リソース、投資戦略を支える資産運用会社を評価することで、投資戦略のモーニングスターESG コミットメントレベルを決定します。

アナリストは、高度な知識を有する ESG 投資の専門家や包括的な ESG データおよび分析など一流のリソースを持つ投資戦略に対して、投資戦略のモーニングスターESG コミットメントレベル「リーダー」を付与します。さらに、これらの投資戦略には、初期スクリーニング、銘柄選定、ポートフォリオ構築、リスク管理に至るまで、これらのリソースと分析がプロセスに完全に組み込まれ、ESG 課題や議決権行使などポートフォリオが保有する企業に積極的にエンゲージメントするための高い透明性や執行力を備えているプログラムが存在することが必要です。アナリストは、各資産運用会社の投資哲学やプロセス、リソース、積極的な株主（オーナーシップ）活動を評価することで、資産運用会社のモーニングスターESG コミットメントレベルを付与します。アナリストは、投資プログラムに ESG の原則を取り入れるためのベストプラクティスを実践している資産運用会社に、資産運用会社のモーニングスターESG コミットメントレベル「リーダー」を付与します。これには、明確に定義された ESG 理念および関連するポリシー、最高レベルの ESG リソースとデータ、すべての資産クラスを網羅し、運用資産の大部分に適用するための手法が含まれます。これらの資産運用会社はまた、業界最高水準のエンゲージメントおよび議決権行使も行っています。

米国モーニングスターのマネジャーリサーチ・チームは、本日発行のリサーチレポート「モーニングスターESG コミットメントレベル：100 を超える投資戦略、資産運用会社 40 社の評価の開

始（The Morningstar ESG Commitment Level: Our first assessment of 100+ strategies and 40 asset managers）」において、世界のファンドや資産運用会社に対する ESG コミットメントレベルを発表しました。「異なるアプローチ、基準、開示方法などによって複雑化した投資分野で、ESG コミットメントレベルは、投資家の皆様が ESG 要因を取り入れているが限定的な取り組みに留まるファンドと、真に持続可能な投資を行うファンドを見分ける手助けをします」と、米国モーニングスターの EMEA・APAC のサステナビリティリサーチ担当ディレクター、ホータンス・ビオイは述べています。

アナリストは最終的にはモーニングスター・アナリスト・レーティング™を付与している調査対象の選択された投資戦略、および資産運用会社に対して ESG コミットメントレベルのための評価を行います。2020 年 11 月現在、アナリストは、オープンエンド型ファンドやクローズドエンド型ファンド、上場投資信託、および一任勘定（SMA）を含む 5400 以上もの投資ビークルを調査対象としています。2021 年には、ESG コミットメントレベルを、米国モーニングスターがグローバルで展開する代表的な投資分析プラットフォームである Morningstar DirectSM や個人投資家向けウェブサイト Morningstar.com などで閲覧できるようになります。

リサーチレポート全文と評価開始時点の ESG コミットメントレベルは、[こちら](#)（英語版のみ）をご覧ください。また、ESG コミットメントレベルの調査分析手法については[こちら](#)（英語版のみ）をご覧ください。

米国モーニングスターについて

米国モーニングスターは、北米、欧州、オーストラリア、およびアジアで事業を展開する独立系大手投資調査会社です。Morningstar, Inc. は、個人投資家、ファイナンシャル・アドバイザー、資産運用会社、退職プランのプロバイダーやスポンサー、および債券市場やプライベート資本市場の機関投資家の皆様に、多岐にわたる商品やサービスを提供しています。商品やサービスには、資産運用、上場企業、プライベート資本市場、債券など幅広い投資対象を網羅するデータや調査・分析、リアルタイムで配信する世界のマーケットデータなどがあります。また、投資アドバイザリーを専門とする子会社を通じて資産運用サービスも手掛け、2020 年 9 月 30 日現在の助言・運用資産残高はおよそ 2,150 億ドルに上ります。米国モーニングスターは、世界 29 カ国に事業拠点を展開して

います。米国モーニングスターの更なる情報は、www.morningstar.com/company をご覧ください。また、ツイッターのアカウントは@MorningstarInc です。

###

©2020 Morningstar, Inc. All Rights Reserved.
MORN-R